

ライフステージに応じた「福祉学習プログラム」概要

社会福祉法人島根県社会福祉協議会

プログラムの深化	ライフステージ 到達目標	乳幼児	小学生	中学生	高校生等	大人
福祉の心の醸成 感覚を養う 関心を持つ・課題を認識する 課題解決の方策を考える	命の大切さを理解するとともに人への思いやりや多様性を認めあう心を養う	親子間コミュニケーションを深める		1 地域の高齢者・障がい者・子ども、或いは社会福祉施設等利用者と交流を図る 2 様々な情報・話等を通じ命の大切さを理解する 3 様々な人とのふれあいから思いやりの心を育てる 4 話や福祉体験等を通じ、高齢者・障がい者等の特性を理解、心のバリアフリーを育む 5 補助犬の必要性や役割を理解する 6 あいサポーター研修		
	地域の特徴や抱える生活・福祉課題について理解する		1 地域で遊びながら特徴や課題等を学ぶ	2 自分たちの地域を知る、過去の災害から故郷を知る 3 福祉課題を学ぶ		4 社会的包摂について理解する
	将来の地域の姿や、暮らしやすい地域のあり方について考える			5 地域探索等を通じ誰もが住みやすい町を考える 6 地域の課題や将来像から地域の未来を考える		7 小地域福祉活動の重要性を学ぶ
	地域の様々な社会資源について理解する			8 地域の福祉サービスや社会福祉施設を体験的に学び理解する		9 法律・制度・施策を学ぶ
	地域を支える担い手(住民・ボランティア・専門職等)の役割を理解する				10 地域の担い手としてのサポート方法を学ぶ 11 地域の中で自分たちができることを考える	12 ボランティア養成講座
	地域が抱える課題を見える化するとともに、具体的な取り組みを考える			福祉支え合いマップづくりに取り組む	地域住民アンケート等を実施する 住民座談会を開催する 高齢者・障がい者等当事者同士の交流の場をつくる	
	課題解決に向けて地域住民の理解や参画を得る			チラシや広報誌を作成する	住民説明会等を開催する 担い手養成講座を開催する	
	課題解決に向けた組織・人・計画・拠点づくりを行う					

※表中の数字は福祉学習プログラムのテーマ番号に同じ

市町村社協／学校・公民館・自治会・福祉施設・企業等と連携し、地域住民の生活場面(学校・職場・地域等)等に応じて福祉学習プログラムを実践